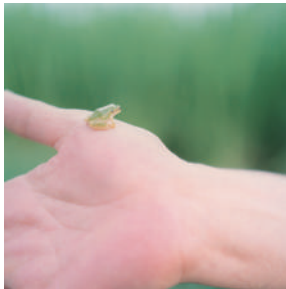


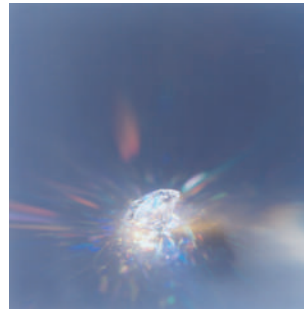
2021年10月中旬 配本予定

# 川内倫子写真集『Illuminance The Tenth Anniversary Edition』



表紙イメージ

テキスト：デイビッド・チャンドラー、  
レスリー・A・マーティン、篠原雅武  
定価：7,150円(税込)／384頁／A4変型サイズ／  
ハードカバー／和綴／クロス貼り／日本語のみ  
デザイン：ハンス・グレメン  
ISBN978-4-907562-30-4 C0072



2011年の初版から10年を経て、川内の代表作のひとつである『Illuminance (イルミナンス)』が蘇ります。  
『Illuminance』は「照度」という意味を持つように、光という写真の命題に向き合った作品シリーズ。この世界に満ちている光と闇、そして生と死。美しさと同時に悲しさをも含有する川内倫子がとらえるそれらの断片は、時間や場所をも超えて、普遍とは何かを私たちに訴えかけます。崇高でありながらささやかに、私たちが見ているこの世界の新しい扉を開きます。

初版の構成をそのまま再現し、オリジナルのデザインを踏襲しながら、オランダのアート・ディレクター、ハンス・グレメンによって装丁を一新し、その世界観を存分に味わうことができます。写真家アレック・ソスは本作を「とても精巧に作られたこのモノグラフによって、川内倫子の名前を誰もが知るようになるはずだ」と称賛しました。本書では、デイビッド・チャンドラーによるテキストの再収録に加え、新たに哲学者・篠原雅武と、Apertureのクリエイティブ・ディレクターであるレスリー・A・マーティンによる論考が加えられています。この再版は、川内作品に新しい文脈と視点を与えるとともに、読者は詩的で、想像力にあふれる感性に再び出会うことができるでしょう。

川内倫子 (Rinko Kawauchi) / 1972年、滋賀県生まれ。写真家。2002年、『うたたね』『花火』で第27回木村伊兵衛写真賞受賞。国際的にも高い評価を受け、国内外で数多くの展覧会を行う。主な個展に、2005年「AILA + Cui Cui + the eyes, the ears,」カルティエ現代美術財団(パリ)、2012年「照度 あめつち 影を見る」東京都写真美術館、2016年「川が私を受け入れてくれた」熊本市現代美術館などがある。著作は写真絵本『はじまりのひ』(2018年)、作品集『Halo』(2017年)など多数。

▶ご注文はツバメ出版流通まで FAX: 03-3721-1922

mail:info@tsubamebook.com  
TEL:03-6715-6121 http://tsubamebook.com

貴店名(番線印)	新刊 torch press		www.torchpress.net 返品条件付注文扱い 返品了解 ツバメ出版流通:川人
	注文数	新刊『Illuminance The Tenth Anniversary Edition』川内倫子 ISBN978-4-907562-30-4 C0072 定価6,500円+税	
	ご担当: 様	好評既刊『as it is』川内倫子 ISBN978-4-907562-24-3 C0072 定価3,000円+税	